

県政・一九六五年

ふりかえる県政のあゆみ

営業はじめた

阿蘇観光有料道路（二月）

阿蘇国立公園は、絶えまなく噴煙をあげる中岳を中心に、高岳、根子岳、杵島岳、鳥帽子のいわゆる阿蘇五岳と、これを取りまく外輪山よりなり、世界第一の規模を誇る複式活火山でその景観の雄大さはあらためていうまでもない。国際観光ルートの一環である阿蘇を、訪れる観光客、修学旅行の学生は年々増加の一途をたどり年間三百万に達する盛況である。

ところが、中岳火口への登山道路は、昨年まで日本道路公園の坊中からの阿蘇登山有料道路と、そのほか、仙酔峡有料道路（一の宮町）があるのみであった。特に、三九年一月九州横断道路の開通

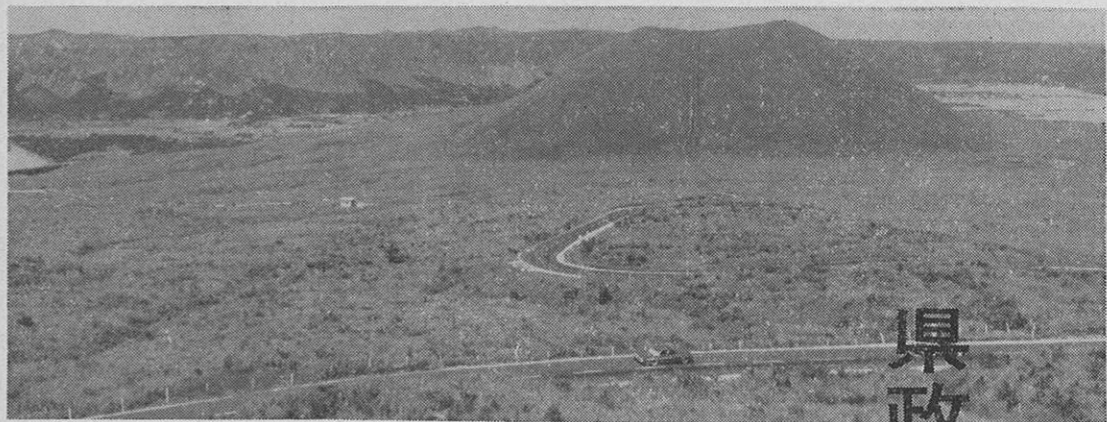
により別府、阿蘇、熊本、雪仙を結ぶ観光ルートは、画期的に交通が便となり、九州ゴールデンコースと呼ばれ、このルートの利用観光客は激増し、阿蘇山と熊本を結ぶ最短コースの整備と、登山の新しいルート建設の強い要望がなされたのである。

これらのことを解決するため県は三十八年六月赤水湯の谷山の上の道路を改良舗装して、有料道路とすべく阿蘇山観光有料道路事業特別会計を設置。昭和三十一年三月道路整備特別措置法に基づく道路建設について、県議会の議決を経て、引続き建設省の許可を受けた。工事費一億九千四百万円（起債その他）を以

新産都市建設計画をはじめとして、発展のための十分な基礎を整えた県政が、まず、その第一歩をふみ出した、一九六五年。
新しい県計画の策定を終り、さらに前進をつげようとしている県政——今年の主なニュースをひろって、県政の足跡をふり返ってみてい。

て、三九年五月着工、一二月には一応の完成をみ、本年一月より待望の阿蘇山観光有料道路（赤水湯の谷阿蘇山上）九・九結の営業を開始したのである。
この開通によって、阿蘇山上と熊本市を結ぶコースとしては最短コースとなり、これまでの坊中経由にくらべて約一二結、所要時間で約二〇分の短縮となった。

更に今までは坊中からの一方交通があるのみで、観光客もこの往復の利用により「倦き」と「単調さ」を覚えていたのだが、循環コースを利用することにより、阿蘇を開拓された建磐竜命の神話を秘めた米塚や、変化に富んだゴルフ場をはじめ、国立牧野改良試験地、或は京都大学の火山研究所などこれまで見られなかった新しい角度からの阿蘇の雄大な草原の景観が楽しめるようになり、また交



通ラッシュもさけられるようになった。

熊本方面からの阿蘇登山は、この有料道路を利用するのが最短コースである。

なおこの道路の諸車通行料金は表のとおりで道路公園（坊中山）の料金と同額になっている。

世界的に知られた阿蘇は、自然探勝、温泉浴、キャンプ、登山等利用範囲も広く、国民の健全なリフレッシュ地域と

して今後ますます利用者の増大が予想されている。

しかし阿蘇地域の産業および観光資源はまだ未開発のまま残されたものが多く、これ等の開発のために、阿蘇スカイラインの計画が進められており、着々道路交通網も整備されていくことと思われる。

県営阿蘇観光有料道路も漸次利用者が

経営伝習農場完成（二月～八月）

昭和初期の農村恐慌時代自力更正を標榜し自らの力で解決策を見出そうと全国一勢に立上った農民道場組織は、本県においては昭和九年球磨郡木上村（現錦町）にその発足をみ、その後昭和十七年菊池市に移転し又昭和十九年には鹿本郡植木町にも時代の要請に応じて新しく農場が新設され、戦後名称も「経営伝習農場」と改まり、農村青少年を対象に教育の実績を挙げた。

以来経営伝習農場の教育は質実剛健、強い鍛錬の中にあつて農村農業を真に愛し、信念と意欲に燃えた青少年をつくり上げることに世の注目を集めてきた。特に戦後社会情勢が一変した時代にあつて、郷土を愛し勤労精神に徹する農場教育は、工藤前場長等のたゆまぬ努力もあつて世論の支持を益々大きくし、入

場希望者は年を追って増加、卒業生は三、五〇〇人を越え県内各地で活躍する姿は常に高く評価されている。

増加、現在までの利用車量は二四万台以上に達した。四一年秋の天草橋の完成、近代的な観光施設の整備などにもない本県観光の発展とともに利用者は増えることとなる。

了の八月九日寺本知事を初め五〇〇人以上にのぼる参列者によって盛大に落成式が催されたのである。
今や農村後継者対策は極めて深刻な問題として識者の等しく憂慮するところであるが、昭和三十一年頃からの高度成長に伴う鉱工業の発展は、農村から労働力、とりわけ若い優秀な労働力を要求し、また、それらと関連し農産物需要の増加や食糧消費構造の変化に促されて、農業の商品生産が急速に進展する結果となり、農業者も、また他の産業従事者と格差のない所得をあげ得る能力と手腕が要求される時代となった。

さて、移り変わる農業に際しては十分近代化された施設によってその成果をあげるべきであるとの要請にこたえて、昭和三十七年から経営伝習農場新設の候補地の物色がはじまった。現在地の下益城郡城南町舞原は熊本市から僅か一七キロの近距離で交通の連絡もよく、とりわけ城南町初め宇城各市町村の支援や地主の協力もあり、三八年から三五分の用地買収に入り、三九年には本館、講堂、寄宿舎や収納舎、乳牛舎と建物のあらましが着工された。こえて昭和四〇年三月一日より組織も一本化し、熊本県経営伝習農場として菊池農場、鹿本農場を含む新機構のもとで生徒教育が始まった。そして工事完



料金表

| 区 間 | 普通 | | 小 型 | | バ ス | | 大型特 殊自動車 | 軽自動車 小型特殊自動車 | 自動車 二輪自動車 | 原動機付 自転車 | 軽車輪 自転車 | 自転車 |
|--------------------|------|------|------|------|------|------|-------------|-----------------|--------------|-------------|------------|-----|
| | 乗用 | 貨物 | 乗用 | 貨物 | 定期 | 貸切 | | | | | | |
| 阿蘇山上～[赤水]～湯の谷～[赤水] | 250円 | 300円 | 150円 | 150円 | 450円 | 500円 | 500円 | 70円 | 60円 | 20円 | 20円 | 20円 |
| 阿蘇山上～[赤水]～湯の谷 | 190 | 230 | 110 | 110 | 340 | 380 | 380 | 50 | 40 | 15 | 15 | 15 |
| 湯の谷～[赤水] | 60 | 70 | 40 | 40 | 110 | 120 | 120 | 20 | 20 | 5 | 5 | 5 |

(割引) 回数券の割引率は、31回に1回、110回に10回を割引とする。

